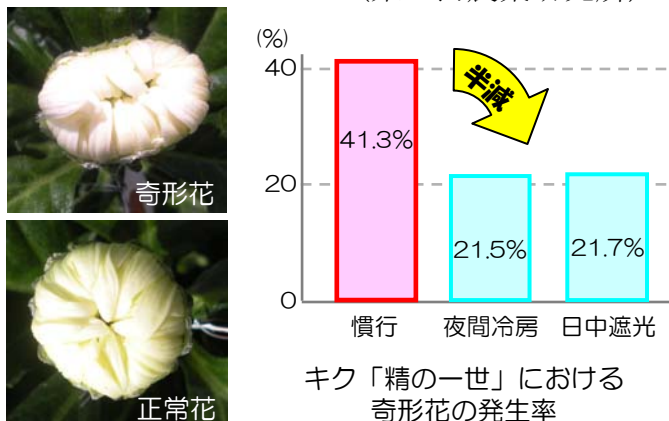


研究トピックス

キクの奇形花発生を半減

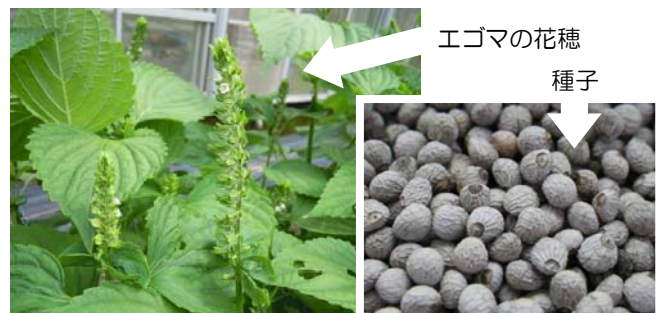
白色輪ギク「精の一世」は高温期の栽培で花が奇形（扁平）になりやすいことが問題になっています。この対策として、夜間をヒートポンプ等で23℃に冷房するか、または日中に遮光をすることで、奇形花の発生を半減させることができます。

(東三河農業研究所)



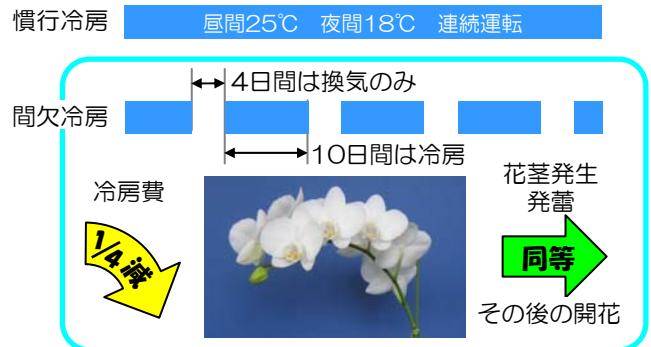
早生系統エゴマの開発

エゴマは、 α -リノレン酸を多く含み、その機能性が注目されている食材で、設楽町をはじめとした中山間地域で栽培されています。しかし、栽培されている系統は、晩生で台風等による被害が心配されます。そこで台風襲来前に安定的に収穫できる早生系統の開発に取り組んでいます。2014年度末には新しい系統が完成する予定です。(山間農業研究所)



間欠冷房によりコショウランの冷房コストを削減

コショウランの開花には、夏の昼間でも25℃以下で管理する必要があるため、多大な冷房費がかかります。そこで、10日の連続冷房期間と、4日の無冷房（換気のみ）期間を繰り返す間欠冷房法を検討したところ、慣行の連続冷房と同等の花茎発生及び発蕾を示すことがわかり、約25%の冷房費削減が見込まれました。(園芸研究部)



ダイズほ場で活躍するクモ

県内ダイズほ場で、害虫の捕食性天敵であるクモ類を調査したところ、水田で多く生息するサラグモ科ヤホシサヤヒメグモ、アシナガグモ科トガリアシナガグモ、コモリグモ科キクツキコモリグモなどが見られました。これらのクモ類は本県では水田転作で作付けられることの多いダイズほ場でも天敵として機能していると考えられます。

(環境基盤研究部)

本研究は農林水産省委託プロジェクトで実施しました。

ヤサガタアシナガグモ

キクツキコモリグモ



研究短報第103号

編集・発行 愛知県農業総合試験場

〒480-1193 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-1

TEL 0561-62-0085 内線323 (企画普及部)

FAX 0561-63-0815

<http://www.pref.aichi.jp/nososi/>